



# いざなぎ学園だより

No.9 2022.7/19

## ◆令和4年度 淡路文化会館「いざなぎ学園」第9回講座

7月13日(水)、兵庫県淡路県民局交流渦潮室 大橋雅史先生による専門講座5「淡路島の未来の姿」～あわじ環境未来島構想と地域ビジョン2050～のご講義がありました。午後からは、サークル活動 月2 書道・民謡・社交ダンス・パソコン中級がありました。



7/13 専門講座5「淡路島の未来の姿」～あわじ環境未来島構想と地域ビジョン2050～  
兵庫県淡路県民局交流渦潮室 大橋雅史氏

### ◎学園生のみなさんの感想 振り返りシートから (抜粋)

・淡路島の未来について考える良い機会をいただきありがとうございます。まず、実際に住んでいる私たちが現実を知ることが大切だと思いました。

・淡路らしい景観、産業、伝統、文化を残しながら、課題意識をもって生活しなければと思いました。どのような淡路島になっていくのか、楽しみでもあります。

・淡路島の過去からの推移や現状、そして未来予想がとても興味深かった。高齢化率が県内で一番進んでいるが、高齢化の何が悪いのか、またそれをメリットにするにはどんな方法があるのか、しっかり考察することが大切である。あわじ環境未来島構想で重要なのはSDGs。淡路島について再考するよいきっかけになった。

・淡路地域ビジョン2050の5つ目の目標「誰もが住み慣れた地域で最期まで安心して暮らせる島」とありますが、私もこの島がそうであってほしいと願います。まず、自分にできる身近なことから取り組みたいと思います。食料やエネルギー施策は国の仕事と考えず、自分たちで取り組む課題だということ。太陽光発電などの活用など変化する時代に柔軟に対応し、新たな価値観やライフスタイルを創っていけるよう心掛けたいです。私も含め子供、孫たちの未来が少しでもよりよいものであることを願っています。

・少子高齢化、空き家や放棄田の増加、問題山積です。ネガティブにとらえていましたが、視点を変えれば「元気な年寄りが多い」。ポジティブにとらえることの大切さを学びました。2011年、地方人口増加

の分析、感激です。私は自給自足で頑張っています。

・淡路の現状について、分野ごとにデータで表して、私たちでも一目でわかりました。未来に向けて多くの課題が示されていますが、これらの課題、目標についての成果もお聞きしたいです。

・最近、淡路島が脚光を浴びているのを「一部の企業だけのこと」と冷ややかに見ていましたが、改めて、島の自然や資源の活用の工夫について、他市から見学に来られる理由、島で暮らす意味について考えられました。

・私たちの若かったころと違い、今の若い人たちは将来を輝くものと思っているのか心配です。私の子供たちを見ていると淡路島のことは大好きで帰省はしてきますが、働きたい仕事場が淡路にはないようです。淡路島の未来を考えると、「高齢者の仲間入りをした自分は、今、いったい何をすればよいのか」と立ちすくんでしまいます。

・いろいろなデータをもとに淡路島を読み解き、それから始まる未来構想、島の衰退に歯止めをかけ、持続可能な地域再生を目指す行政の取り組みを説明していただき感謝します。またそれを伝える熱い思いが伝わってきました。個人個人は微力でも、自分が今、やれることに取り組んでいきたい。

・淡路島に住んで、毎日のんびりと、人のお役に立てることがあればお役に立ちたいと常々考えています。改めて自分の周囲を見直すと、「幸福な生活を送っているのだなあ・・・」と痛感しています。

・「あわじ環境未来島構想」の説明をされながら、課題だけではなく、淡路島の魅力を熱く語られていたのが印象的でした。今、よくいわれているSDGsをずっと淡路島がやっていたというのはびっくりです。淡路島を好きでいてくれてありがとうございます。

・淡路島に嫁いで40年。淡路島は素晴らしいところだと再認識しました。西浦を走ると「ここはどこ??」って思うほど、素敵な島になり、若い人が集まってきています。大学も島にできて、学生が来ているが住む家がないというのも少し不安なところです。

・私たちの住む淡路市は、企業が進出し、様変わりして高齢者の私たちはびっくりしています。子供たちは、関東方面に住んでいて、すぐ来られず、取り組みの三本柱ではなく、4本柱にして、高齢者に温かい淡路島であってほしいです。

・「あわじ環境未来島構想」の三本柱について具体的にお話を聞くことができました。先月の講演と合わせて2050年がポイントになっている。その時、私は90台半ばです。さて、生きているかどうかです。淡路島が今以上に活気ある住みよい島であるよう願います。県民局はじめ行政に期待しますが、まずは自分ができることから努力していきたいです。

・豊かな食とは、高級ホテルのシェフが手掛けた食か、それともできるだけ人の手をかけない素材を生かした料理か?自然豊かな食材があるのが淡路島の良いところ。移住者人口を増やすことも大切だが、昔から住む人が心豊かに住めるようにする方向性も大切だ。

・お話を聞いて改めて淡路島は可能性のあるいいところだと痛感しましたが、現実に生活している者としては、少しかけ離れている気がします。特に農地や森林の荒廃や交通手段の問題が気になります。今あるものを大切に!新しいものを求めすぎかな?と思います。

・都会で生活している子や孫に今日、お聞きした話や資料を見せ、淡路島のことを考えてもらいたいと思いました。農業だけでなく、漁業関係もよろしく。

・若いときは淡路島に住んで本当に不便でした。通学、通勤はいつも船でしかも風が吹けば欠航で……。でも年を重ねるごとに淡路の良さがわかるようになりました。野菜、お魚がおいしくて、人が温かくて……。そこへ明石海峡大橋ができ、阪神間が身近になり、本当に暮らしやすくなりました。私たちの淡路島が見直されて本当にうれしいです。

・あわじ環境未来島構想について詳しく説明していただき初めて知ることが多く勉強になりました。淡路の歴史、文化を誇りに心豊かに生きることを目指していきます。また淡路島の魅力を発していきます。

・今まで淡路島に住んでいるのにもかかわらず、知らないことが多いと反省しています。これからの淡路島にはいろんな可能性、未来があるということがわかり、魅力が再確認でき、淡路島に住んでいることを誇りに思います。これからの若い人に持つと淡路島のことを知ってもらいたいですね。

・淡路島の未来を見据えて、食とエネルギーの自給率を上げて若者が帰島して生活できる環境をしっかりと作っていかねばならない。また文化と歴史のある島の魅力をしっかりとらえ、住みやすい島になればと思う。私自身が淡路に来て淡路の魅力についてまだまだ知らないことも多く、これからも勉強していきたい。

・行政が考える淡路島の未来についてお話しいただきありがとうございました。私も淡路島が好きで移住してきた一人として是非、淡路島が発展していくことを期待します。

・淡路島の現状を知り、行政が主体となってどのような島にしていこうとしているのか、構想、ビジョンを知ることができた。生活満足度が2010年45%、2021年70%と示されているが(質問内容にもよるが、)実感からかけ離れている。文化施設の廃止、北淡路のみが人口増加、県としての施策推進を望む。

・私も20年前に淡路島に住むことになったのですが、気候は温暖で食べ物もおいしくしっかり太ってしまいました。歴史もあり自然も豊かで住みやすい島ですが、最近、島外からの車が多く困っています。

・国の「総合特区制度」に基づく淡路島の未来予想図のお話。企業が参入して華やかな未来が計画されているようですが、国が未来永劫まで責任を持ってくれるのでしょうか。淡路島の自然や生活が大切にされる地域開発を望みます。投機目的、企業の利益優先の事業は望みません。淡路島住民の声を取り入れた施策をすすめてほしい。

・私の学生時代のころの淡路島の人口は20万人。現在は12万7千人。寂しい限りです。自分の子供たちも淡路島を離れました。働く場がなく、都会との格差があり、仕方ないですね。でも、若い人たちに淡路島の良さを分かってほしい。

・私も淡路島の良さに気づいて移住してきた一人です。住み始めた頃は島に一步入ると夜は真っ暗。でも見上げれば満天の星。都会から近いのに別世界。そして明石海峡大橋ができ、阪神間に通勤ができるようになりました。コンビニもでき、ちょっと便利になりすぎたのではないのでしょうか。オーバーツーリズムも心配です。島が発展するのはいいことかもしれませんが……。



・淡路島の未来に向けていろいろな取り組みが行われていることがわかりましたが、特に橋もなく、どこへ行くにも船、フェリーが必要だった昔に戻りたいと思うことがあります。物価が上がり、商売人が増え、ただ人口が増え、治安が悪くならないか心配です。

・今の淡路島は自然が壊され、国生みの島とは、程遠い方向に進んでいる。埋め立てのために山を崩し土砂採取、跡地に太陽光発電が設置され残念です。淡路島の自然を生かした環境づくりを望みます。子供たちが「帰ってきたい」と思ってくれるように、わたしたちにできることをしたいと思いました。

・自然と温暖な環境に恵まれた淡路ですが、だんだんと様変わりし、喪失感を感じる。この頃、よく見かけるごみの山、道幅もないのに増えていく建物。島の持続と発展を望みつつ、何か大切なものが失われつつあるように感じる。いつまでも心豊かに暮らせる島であってほしい。



7/13 サークル月2 書道・民謡・社交ダンス・パソコン中級